

なおただ

# もてぎ直忠

## 市議会レポート 政策通信

2023  
第1号

発行 / もてぎ直忠事務所

千葉市稲毛区轟町1-13-3

TEL043-287-5222

FAX043-256-9076

報告 令和4年

### 第4回定例会



令和4年第4回定例会は11月29日に招集され、12月16日までの日程で開催されました。議会の前半では各会派の代表による質疑が、また、後半には27名の議員による一般質問が活発に行われ市政を質しました。

「健康都市 千葉」実現を目指し32年間の議員活動において取り組んでまいりました多くの事案の中でも「タバコの害」に次ぐ重要な案件と捉えております「千葉公園プールの再整備」の問題について、私も今回登壇し市政を質しましたので、質問とその内容及び市行政からの答弁等を報告いたします。

長く取り組んできた「タバコの害」については当時千葉市長でありました熊谷現千葉県知事のご協力と自由民主党の応援も得て、全国の地方自治体のほぼ最初に「受動喫煙防止に関する条例」の成立を見ることが出来ました。

一方、「千葉公園プールの再整備」については過去数回にわたり文書や登壇の折に、意見・提案・要望等をしてまいりました。その時々において、大会開催に必要な着順やタイム表示の掲示装置の設置など、整備が行われておりませんが、新設建替えなどはコスト面の課題もあり実現にはまだ遠く、今回あらためて要望させていただきました。



#### 一般質問 (原文掲載)

これまで私はプールの整備について数回質問してまいりました。水泳はスポーツとして泳力・体力の向上はもとより、健康づくりに加え医療面からもリハビリテーションや呼吸器・循環器の診療においても有効性が高いとされています。

こうしたことを踏まえ50m屋内プールの整備やその必要性について質問をさせていただきます。

■市民から評判の高かった千葉公園プール  
老朽化の著しい千葉公園プールは、昭和35年6月に

千葉市最初の市営プールとして現在地に開設されました。開設に合わせまして千葉市水泳協会も発足しています。

オーブン当初の頃は、プールで泳ぐことへの関心も高く、6月15日のプール開きの頃から土・日曜や夏休みの期間と大変多くの市民が来場し、連日慢性的な混雑となっていました。

当初は千葉公園プールの監視員は千葉市水泳協会を中心に行い、夏の期間に水泳を通して市民に健全な体力の向上に資するとして、泳ぐことの効果をヒールするとともに、水泳協会においても子供たちを対象とした水泳教室を行い、水泳普及や競技力向上を目指し、積極的に推進してまいりました。

また、千葉公園プールは50mの日本水泳連盟公認の承認を得ていましたので、千葉県民体育大会をはじめ、関東高校水泳大会等様々な水泳大会の会場としても活用されました。

千葉公園プールは、千葉駅から歩いて10分程度であることや、整備された公園内に設置されていたことから、利便性や良好な周辺環境の面からも利用者からは大変好評を得ていました。

#### ■2箇所目の本格的な競技用プールの開設

その後本市は、昭和48年に一巡目となる国民体育大会の水球競技会場として、美浜区の埋立地区であった高洲に50mに25mを併設した本格的な大会にも対応できる高洲市民プールを設置しております。

高洲市民プールは、体育館とウエイトトレーニング施設を併設した総合型体育施設として、水泳と合わせて筋力強化に活用する設備も備えていました。

水泳協会では、市民水泳大会や、千葉市選手権大会を高洲市民プールにて行っていたところでしたが、平成23年3月の東日本大震災の影響による液状化現象によって、プール本体の地盤が陥没して使用が不可能となりました。

修理には多額の費用を要することから高洲市民プールの継続使用を断念しましたので、高洲市民プールで行



千葉公園プール

ていた市民水泳大会等の会場を、千葉公園プールに移して行うこととなりました。

#### ■市内各地に開設された市営及び民間プール

千葉市全域において進められた宅地開発の際には、水泳プールを必要な施設として、「幸町・みつわ台・古市場・有吉」に25m屋外プールを整備、さらに中央コミュニティセンター内に25m屋内プールを始め、清掃工場の余熱を活用した温水プールを「北谷津・こてはし」に設置し、市民の水泳需要にこたえて水泳の普及を推進してきたところでございます。また、水泳プールの開設は市営プールだけではなく、民間のスポーツクラブの開設も進み、市内各地に営業活動を主体としての水泳指導を実施されてきたことから、水泳の普及が飛躍的に進んでまいりました。

民間スイミングクラブの活動は、本市のみならず全国的な広がりとなり、スポーツとして水泳を行う国民・市民の増加は、スポーツの振興の面からも大変重要な役割ともなっています。このように市営プールを始め民間プールが市内各地に開設され、水泳が多くの市民に身近なスポーツ活動としての採用がなされています。

水泳はスポーツの一面から普及し、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や、個々人の心身の健全な発達に必要不可欠となっております。生涯にわたってスポーツとしての水泳を楽しむことは極めて大きな意義を持っているのであります。

#### ■保健・医療に活用される運動としての水泳

水泳をスポーツとして取り入れられている愛好者は、身近に気軽に楽しめることや適度な運動量があつて、自身のレベルに応じて競い合えること、さらにルールが優しく誰にでもプレイの機会が多くあることであります。

水泳をライフサイクルの面から見ますと0歳のベビースイミングから老後の生きがい水泳プランまで、人生の各々時期に親しみと関わった活動であることが特色ともなっています。

本市の65歳以上の高齢者人口は、すでに4人に1人は高齢者となっている状況から、老後を健やかに活力のあるものとするのが望まれていることと同時に、医療費や介護保険料の増加は深刻な問題となっているところであり、スポーツとして水泳の普及によって身体活動を行うことは、医療費等の削減の面からも着目すべき取り組みとなっております。

(裏面に続く)

市政に関する皆様のご意見・ご要望等FAX  
でお寄せください。  
市政に反映できるよう今後も全力で取り組んで  
まいります。

(表面より続き)

高齢者が運動を通して、健康維持・増進、  
個人の生活の質を高いレベルで保つことは重要な  
こととなっております。

水泳はすでに、心血管疾患・糖尿病・脂質異  
常・高血圧などの生活習慣病のリスクファクター  
の予防として、有効な運動であることは保健・  
医療の面からも採用されているところです。

また、陸上競技や各種球技で膝などの足を痛  
めた競技者たちが早期リハビリや、心肺機能維  
持のため、可能な運動として水中を歩いたり、  
走ったりしてトレーニングしていることが知られま  
して、一般の人たちに向けた運動として改良さ  
れ、水中エアロビクス等の様々な水中運動として  
幅広く行われています。

高齢社会を迎えた本市において、健康・体力  
の維持増進にスポーツとして水泳を普及し定着  
させることにより、医療費・介護保険料の抑制  
に繋げることを施策として取り入れることも必要  
なことと考えられるのであります。

### ■選手層の厚い千葉市民の水泳競技力

この9月に栃木県宇都宮市で行われました国民  
体育大会の水泳では、千葉県は天皇杯・皇后  
杯ともに6位、毎年この前後となっておりますが、  
千葉市から4名の選手が参加、いずれも得点に  
絡めた活躍をしています。

稲毛区の岡留君の優勝した少年Aの部200m  
平泳ぎ2分11秒55の記録は、全日本メンバー  
としても期待されているレベルです。  
その他、千葉県民体育大会水泳競技の男子団  
体は、2年連続19回の優勝、女子は11年連  
続23回目の優勝を収めています。

マスターズ水泳においてもマスターズ水泳の世界  
記録を樹立した平本選手を始め、トップスイマ  
ーとして活躍する選手も市内でトレーニングを行  
っています。

こうした競技界における選手の活躍は、水泳  
を日常のスポーツ活動として行っている愛好者に  
とりましても心強い励みともなっています。  
また、指導者として、ソウルオリンピックの金  
メダリストで、初代スポーツ庁長官となった鈴木  
大地選手を育てた鈴木陽二コーチも、花見川区

検見川に長く住まわれていまして、50m屋内プ  
ールの設置を望んでいます。

例えとして、立てる者は歩け、歩ける者は走  
れ、と言われるように水泳においても、水に浮け  
る者は泳げ、泳げる者は多くの距離をそして速  
く泳げ、とされるのであります。

### ■50メートル競技用屋内プールの必要性

平成28年3月に策定されました千葉市スポー  
ツ振興計画にかかわる市民調査で、「今後行つて  
みたい種目は何ですか」の設問に対し、『水泳』  
が23.6%と上位の結果となっております。

市内に多くの水泳プールがあつて用途に応じて  
活用されている現状から、その中核となる50mの  
競技用屋内プールは、練習の泳力を知り、競  
技力を伸ばす必須の施設であります。

水泳プールは、健康づくりやリハビリテーショ  
ンとして、そして選手の競技力向上を目指す場  
として活用されることも、一年を通して行うス  
ポーツとして定着した活動となつているのでありま  
す。

### ■50メートル屋内プール設置に関する質問

1点目ですが、健康増進活動として水泳は、  
身近に自身の身体能力に応じて行えるスポーツで  
あります。

こうした活動が夏のプールや市内各地のスイミ  
ングクラブ等で行われていますのでスポーツ愛好  
者を増やすことは、医療費や介護保険の費用削  
減との係わりもありますので、水泳が健康増進  
に繋がることについて当局の見解を伺います。

2点目ですが、一般的にスポーツの普及は、そ  
の競技種目がオリンピックや世界大会で頂点に立  
つ選手が出現すると普及に繋がるとされています。  
スポーツの競技力向上はスポーツに参加する市  
民の増加と深い関わりがあります。

したがって市内各地で練習している水泳選手の強  
化や競技施設として、中核となる50mの屋内プ  
ールは必要な施設と考えています。

老朽化した千葉公園プールを50mの屋内プール  
として再整備すべきと思いますが当局の見解を伺  
います。

### 2回目意見と要望を申し上げます

水泳が健康増進に繋がることについては、水泳  
をはじめとする有酸素運動は、「水中歩行」を  
ひとつの例として、水の抵抗に逆らって歩くため  
余分な脂肪を減らす等の生活習慣病の予防・改  
善に役立ち、健康増進ひいては健康寿命の延伸

に寄与するとの答弁でした。

健康寿命の延伸は、つまり日常的で継続的な  
医療・介護に依存しないで自立した生活が出来  
ることであることから、医療費や介護費用の削  
減にも効果を期待できることとなります。

水泳をスポーツとして普及することはこうした費  
用の削減に生かされることに繋がるのであります。  
また、千葉公園プールの50m屋内プールとし  
ての再整備の必要性については、概ね理解され  
たと思われ、公園整備マスタープランでの位置  
づけについても前向きな答弁を頂き希望が湧いて  
きました。

規模・財源については、これから多くの問題が  
あると思われませんが、創意工夫して行かなけれ  
ばならないと思っております。千葉県水泳連盟  
会長も千葉市に立派な競泳用施設が出来ること  
を心待ちにしているという声も聞いております。

県都千葉市として3つあった50mの競泳プールの  
最後の砦を守ることは喫緊の課題であり、やっ  
と先の見え始めたこの事業の完成を目指し、60  
年の歴史の中でかかわった多くの千葉市民の夢と  
希望の実現に向け鋭意努力するつもりでございま  
す。

よろしくご高配のほどお願いして私の質問を終  
わります。

### スポーツの振興と水泳施設整備について〈Q&A〉

Q. 水泳が健康増進につながることにについて見解を伺う  
A. 水泳が健康増進につながることにに関する見解についてです  
が、国の健康増進の基本方針である「健康日本21」によると、身体活動や運動量が多い人は、少ない人と比べ、いわゆる生活習慣病の発症リスクが低いとされており、運動不足は、喫煙、高血圧に次いで、生活習慣病による死亡の3番目の危険因子とされており  
本市においても「健やか未来都市ちばプラン」において、運動やスポーツを習慣的に行うよう普及啓発を図ってまいりました。  
水泳をはじめとする有酸素運動は、継続することで、健康増進につながるものと考えております。  
プールで行われる水中歩行などの運動は、水の浮力により膝などの関節への負担が減った状態で行えることから、無理なく行えるとともに、水の抵抗に逆らって歩くため、エネルギーの消費が多くなり、余分な体脂肪を減らし『生活習慣病の予防・改善にも役立つものであり、健康増進、ひいては健康寿命の延伸にも寄与するものと考えられます。』

Q. 老朽化した千葉公園水泳プールを50mの屋内プールとして再整備すべきと思いますが当局の見解は  
A. 千葉公園水泳プールを50m屋内プールとして再整備すべきとのことですが、千葉公園水泳プールは、建築から60年以上が経過し、施設の老朽化が著しい状況であります。市内唯一の日本水泳連盟公認の50mプールとして、市民の競技大会の開催時には欠かせない施設であり、「千葉公園再整備マスタープラン」において、今後、『大規模な改築を行うこととしております。』  
具体的には、令和5年度からの第1次実施計画の計画事業に位置づける予定としており、夏季の競技大会の開催時等においては、炎天下での熱中症対策を行う必要があるなどの現状等もふまえ、今後、各競技団体からの要望や市民の方からのご意見を伺いながら、整備費用などのライフサイクルコスト等を総合的に勘案し、必要な機能について検討してまいります。



アクアラインマラソン

東京マラソン

フルマラソンで心と身体を鍛え  
健康を保っています  
マラソン歴30年  
年数回のフルマラソン  
「東京マラソン」「佐倉マラソン」  
「館山若潮マラソン」  
その間、「アクアラインマラソン」他で  
出場全レース完走を継続中  
昨年「東京マラソン」「アクアラインマラソン」  
を完走